

## 第3回和光市協働指針策定検討会報告

日時：平成19年4月25日（水）午前10時から正午

場所：市役所4階404会議室

出席者：【検討会メンバー】藤田・山田・大谷・森田・関・待鳥・岸・木田・中村

【和光市協働推進庁内調整委員会】中蔦委員長・橋本副委員長

【政策課】田中副主幹・茂呂統括主査・小塚主事補

### 内容：1 事務局からの確認事項

- ・協働指針（素案）は、協働推進庁内調整委員会で十分に論議した上で策定したものであり、協働指針策定検討会では、職員も含めてお互いに知恵を出し合い修正を行うが、検討会で修正したものがそのまま和光市協働指針となるものではない旨を確認。
- ・協働指針指針（策定検討会案）がある程度決定した段階で、市は庁内調整委員会において検討し、市民と市がキャッチボールをしながら策定を進めていきたいと考えている。そのため、この検討会では、「てにをは」を論ずるのではなく、「指針に盛り込むべきことは何か」を中心に論議していただきたいことを伝える。

### 2 「趣旨」と「現状と課題」の修正案について各グループ代表者の説明と事前意見提出者からの意見説明

### 3 それぞれの修正案についての検討（指針掲載順）

#### (1) 趣旨について

- ① 「市民」と「市」という表現について分かりにくい。市民も市の一部であるという考えもある。  
⇒P9における「市」の説明をP1の注釈に記載する。
- ② 12行目の主語が不明  
⇒主語（市は）を入れる。
- ③ 趣旨の注釈における社会福祉協議会と商工会の位置づけについて  
⇒P9の表を作成した上で、検討する。  
(社会福祉協議会は市民活動団体と地域活動団体の両方に関係するため、記載部分を検討。商工会は企業の中に入れる方向で検討。)

#### (2) 現状と課題について（一部、3グループに分かれて検討）

- ① (1)よりも前の部分は現状と課題というよりも市の概要ではないか。  
⇒省略して策定の趣旨に入れる、表題を「和光市の背景とする」などについて検討。
- ② (1)市民の現状と課題に不足の部分があるのではないか。  
(ア) P1注の市民と(1)に記述している市民の現状との整合性について  
(イ) この現状と課題は素案を組み替えて作ったものである。庁内で統一した窓口がないなど、協働における課題は他にもある。

(ウ) 協働の現場では様々な問題が起こっていることも視野に入れるべきではないか。

⇒不足の部分を検討。

- ③ 地域団体の表現についてマイナスのイメージがあるため、修正が必要。

⇒自治会連合会の意見を参考に修正。

- ④ エンパワーという言葉が分かりにくい。

⇒修正を検討。

- ⑤ 現状と課題の構成が分かりにくい。

⇒課題のみを箇条書きに抽出するか、現在のかたちでよいかについて、3グループに分かれて検討した。今後実施計画のようなものを策定することを考えると、現状と課題は細かく記載する必要はないが、現在の和光市の協働の状況を考えて、急務であることを中心に記載する方向で座長・副座長に一任。

- ⑥ 現状と課題は現在のものであり、数年経つとこの指針は時代にそぐわないものになってしまうのではないか。

⇒時代の流れとともに修正する旨を記載することについて検討。

※ 検討事項については、座長・副座長と事務局が本日の意見を踏まえて次回までに案を作成する。

(打ち合わせ予定：5月10日(木) 13時～ 市役所第2応接室)

#### 4 今後の会議

- 第4回会議：5月21日(月) 10時～ 市役所404会議室

協働についての基本的な考え方(1)～(3)

※事務局は協働型委託とアダプト制度についての説明を準備する。

- 第5回会議：5月28日(月) 10時～ 市役所404会議室

協働についての基本的な考え方(4)～(5)